

2012.2.26 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2012年

デニス・キンロー著「キリストのように生きる」

背景：1999年の国際神学協議会における講演

・「主との交わりの豊かさ」

テキスト：

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」
(ヨハネ 17:3)

はじめに：(米国)福音派の功績と失敗

- ・福音派は少数の周辺的存在から、中心的な位置を占めるようになった。
- ・しかし、教会の道徳的水準は下がった。罪からの全き自由としての全的聖化を説く人は少数であった。
- ・単に滅びからの自由としての福音ではなく、神との個人的交わりの豊かさの追求が必要。それを示すのが、下記6つのたとえである。

1．法廷

ある裁判で、裁判官の息子が弁護士に指名された。そのために、被告は「法廷の慈悲」にすぎることができた。

2．友人関係

神と共に歩んだエノク(創世記5:24)、ノア(同6:9)。共に歩む内に、神の性質が彼らの中に移された。アブラハムも神の友として、神と交わりながら生きた(ヤコブ2:23)。

3．家族

神はイスラエルを「子」と扱いなされる。神は「父」なるお方である。新約において、私たち信仰者は神の家族に養子縁組で受け入れられた(ガラテヤ 4:5 - 6、エペソ 1:4 - 5)。神を「アバ、父よ」と呼ぶ特権は何と素晴らしいことか。

4．結婚

神の民は、いわば神の伴侶者である(ホセア 1、エゼキエル 16、黙示 21)。人間の間で最も親しい結婚関係が、神と私達の間関係に譬えられる。

5．内住

キリストは私達の内側に入り給う(コロサイ 1:27、2:9 - 12、黙示 3:20)。

6．同一化

キリストは私達と同一化なされる(マタイ 10:40、ルカ 10:46、ヨハネ 13:20、ピリピ 1:21) = 他者に対して私がキリストのような存在になる(2コリント 2:14 - 17)。

終わりに：

自我を本当に十字架につけると、キリストが私達の内に生きてくださる。